

◆男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成 29 年度第 2 回)

議 事 録

2017 年 11 月 28 日 (火) 開催

時 間	15:00～16:45		場 所	地盤工学会会議室	
片 岡 委 員 長	○	亀村オブザーバー	○	山 口 (恵) 委 員	○
西岡オブザーバー	×	熊 野 委 員	○	渡 邊 委 員	×
清 木 委 員	○	隅 倉 委 員	×	高 原 委 員	×
藤 澤 委 員	○	山 口 (智) 委 員	×	平 永 委 員	×
田 中 委 員	○	鳥巢オブザーバー	×	藤田オブザーバー	×
北 田 委 員	○	藤 原 委 員	○		

○ : 出席 (◎ : WEB) × : 欠席 △ : 未定

議事録担当者の選出

北田委員 (29-1) → 田中委員 (29-2) → 委員 (29-3) → 委員 (29-4)

前回議事録の確認

【別紙 - 1】 pp.1～ 3

議事録の確認がなされた。

【議 題】

【報告事項】

【報告事項】

1. 会員支部部会の動き (北田委員)

【別紙 - 2】

- ・本部支部連絡会 (全国大会, 名古屋) にて, 田中前委員長よりメンター制に関する委員会内での活動報告がなされた。
- ・10月開催の会員支部部会において, ダイバーシティ座談会に関する説明がなされた。

2. 他学会の動き (平永委員, 片岡委員長)

- ・土木学会
前委員会の開催時から現在に至るまで, 動きはないと報告があった。
- ・男女共同参画学協会
H29 年度シンポジウムに片岡委員長が参加された。
→今後, 報告書を作成し, 委員会内に周知することになった。
次回, 連絡会は, 12/11 に, 田中委員が参加予定。

3. ダイバーシティ座談会 (熊野委員, 藤原委員)

【別紙 - 3】

- ・資料に基づいて, 開催報告がされた。
- ・参加者アンケートからは, 座談会時の題は二つが適当であったという感想があったので, 来年度も座談会, サロン・土・カフェ W での題は二つが適当では, というコメントがあった。
- ・アンケートについては, 回答者から, 内容の吟味があった方がよかった, JGS の国際部などの別組織との連携はあるのか, 外国人からの回答が得られそうな工夫 (英語表記) があった方がよかった, といった意見が聞かれた。

- 国際部については、事前に外国人を対象としたイベントを当委員会で行いたいと伝えていたので、委員会内で情報共有を図りながら、進めることとなった。その他については、来年度の座談会計画時に参考にする。
- 来年度については、何をキーワードとして開催するか、対象者をどうするか、などについて、改めて検討することになった。
- ・今後、座談会報告書の作成を、藤原委員が担当することになった。原稿はPDFを委員会HPにUPする。

4. 第53回地盤工学研究発表会（高松）_DS等企画に関するアンケート（片岡委員長）

- ・提出状況について説明があった。

5. 技術者紹介WEB版（藤澤委員，高原委員）

- ・11月20日の週に、京都大学・澤田先生の前稿をUP、また1月に濁川氏の前稿をUP予定という報告があった。

6. 委員会HPの更新（熊野委員）

- ・委員名簿の更新を行った。
- ・今後の更新については、学会事務局と作業スケジュールを相談の上、進めていくことになった。

7. サポーターメール配信（藤原委員）

【別紙 - 4】

- ・配信状況報告と今後の予定について、資料に基づいて報告された。
- ・今後、技術者・研究者WEB版の更新情報とともに、座談会報告についてもUPされた時点で周知することになった。

8. 平成30年度予算について（片岡委員長，北田委員）

【別紙 - 5】

- ・総務部に提出した一次予算案について説明があった。
- ・WEB会議の推進，委員会数を減らすなどによって，予算削減をするようにとの依頼があり，それに対応した二次予算案を提出することになった。

【審議事項】

1. 会員支部部会への報告内容に関して（北田委員，田中委員）

- ・座談会報告と，技術者・研究者紹介WEB版の掲載状況・予定を報告することになった。

2. その他

<当委員会の方向性>

- ・特別セッションや座談会で外国人を対象とした活動を行っている。当委員会が，女性→シニア→外国人と対象を変えてきていることについて，学会内外から評価されている一方，委員会名に「男女共同参画」が入っていることから，女性対応だけをするのではないかと誤解されることがある。委員会名は，「ダイバーシティ委員会」としてもよい時期ではないか？
→今後，引き続き検討することになった。
- ・ダイバーシティ減免制度では，障害者も対象である。当委員会は，障害者も対象としているはずだが，どのように取り組むのか？会員からのニーズによるが，現在は本格的に取り組めていない。
→今後，他学会はどのように対応しているのか，各委員が情報収集を行い，次回委員会で報告することになった。イベント時については，手話対応やノートテイクの準備などを行っているか，どのような時に対応しているか，などをヒアリングする。
- ・外国人向けの対応としては，今回の座談会でも地盤工学研究発表会における英語セッションの開催など，英語でのコミュニケーションをメインとした活動をしてほしいという要望がある。

→学会内の他の部会とも連携して進める必要がある。今後も引き続き検討を行う。

<委員会内業務の整理>

- ・次年度の担当についての検討を行うために、委員会の業務内容の整理を行い、委員の人数が適正であるか、検討したい。
- 片岡委員長から、各担当者にメールで問い合わせをするので、12月中を目途に回答してください。次回委員会時に、片岡委員長から、次年度業務（案）を提示いただく。

<女性賞について>

- ・北田理事より、当該賞に関する検討について表彰委員会にて行われてきたが、受賞基準など、明確化する点が多く更なる検討が必要との意見が出され、今後は会員支部部にて検討を続けていく旨の報告があった。

3. 次回開催日の確認： 2017年 2～3月 日（ ）

- ・メール等で日程調整後、連絡。

以 上